

旭市の予算が決まりました

一般会計193億9千万円 特別会計131億9千万円

合併した新・旭市の平成17年度予算が9月定例議会で可決されました。予算の規模は一般会計が193億9千万円、特別会計が5事業合計で131億9,157万円、企業会計(歳出)が3事業合計で275億1,892万2千円となっています。

これまで、人件費や生活保護費などの義務的経費、施設管理費などの経常経費を基本に組まれた暫定予算で執行してきました。今回、予算が成立しましたので今後は、新しい市が一体的に発展するよう、そして豊かで暮らしやすいまちづくりを進めるため、各種の投資的事業を実施してまいります。

今年度の主な事業を合併協議会で作成した新市建設計画に沿って、分けて紹介しますと次のようになります。

① 交流基盤が整備された魅力的なまちづくり

街路事業(旭駅前線の景観整備として電線地中化の共同溝の設計、谷町場遊正線)、市道整備(市民生活に直接関連する市道の計画的整備、旭中央病院と広域農道を結ぶ旭中央病院アークセブ道路の路線決定と予備設計)、水道事業、下水道、防災計画の見直し

② 快適でうるおいのあるまちづくり

都市公園事業(袋公園に多目的施設設置)、排水路工事(岩井排水路)、パークゴルフ場整備事業(実施設計)、情報化の推進

③ 健やかでやすらぎのあるまちづくり

旭中央病院事業(医師・看護師等の充足、交通ネットワークの整備)、保健事業(保健センターの活用、基本健康診査・がん検診の充実、乳がん・子宮がん検診ほか)、高齢者福祉、介護保険制度(介護保険事業計画の策定、地域ふれあい交流事業)、児童福祉(育児環境の充実、虐

待防止ネットワークの立ち上げ)

④ こころ豊かな人と文化をはぐくむまちづくり

学校施設の整備(海上中学校舎改築ほか)、学校教育(放課後児童健全育成事業の充実、学童保育、適応指導教室の充実、不登校の子どもを支援ほか)、社会教育(生涯学習推進計画の策定、地域子ども教室の充実)、文化振興(市民の文化活動への支援)、体育振興(スポーツに親しむ環境づくり)

⑤ 創造力と活力に満ちたまちづくり

多様化する消費者ニーズに対応した水田農業経営取り組みへの支援、農業基盤整備事業(ほ場整備)、経営構造対策事業(ライスセンター、ハウス団地)、市民農園、畜産(家畜排せつ物の流通・利用促進)、水産業(栽培漁業の基盤整備と漁港整備)、商業(商工会への支援)、観光振興、工業振興(優良企業への誘致)

⑥ 共につくる夢のあるまちづくり

新しいまちづくりの指針となる旭市総合計画の策定に着手、行政改革の取り組み(行政改革大綱の策定)、地域審議会、医療と福祉の郷づくりの推進

用語の解説

- 一般会計：市の基本的な行政を行うための会計です。行政サービスのひとつですが、この一般会計で賄われています。
- 特別会計：国民健康保険のように特定の収入を特定の支出に充てて事業を行う場合などに、一般会計と区分して経理する会計。旭市では5つの特別会計が設けられています。
- 公営企業会計：水道、病院のように、事業収入により原則として独立採算で経営を行う仕事について設けている会計であり、その会計処理方法を民間企業と同じ方法にしています。旭市では3つの会計に分かれています。
- 地方交付税：財源の少ない地方公共団体でも一定水準の行政運営ができるよう、国から交付されるものです。
- 国・県支出金：国庫支出金と県支出金。市が行う特定事業に対し、国・県から交付されます。
- 分担金及び負担金：市が行う特定の事業経費に充てるため、特別に関係のある人から徴収するものです。
- 市債：市が行う学校や道路整備などの財源に充てるため、借り入れるものです。
- 地方特例交付金：平成11年度の恒久的な減税に伴う地方税の減収額の一部を補てんするため、国から交付されます。

平成17年度会計別予算額

[単位：千円]

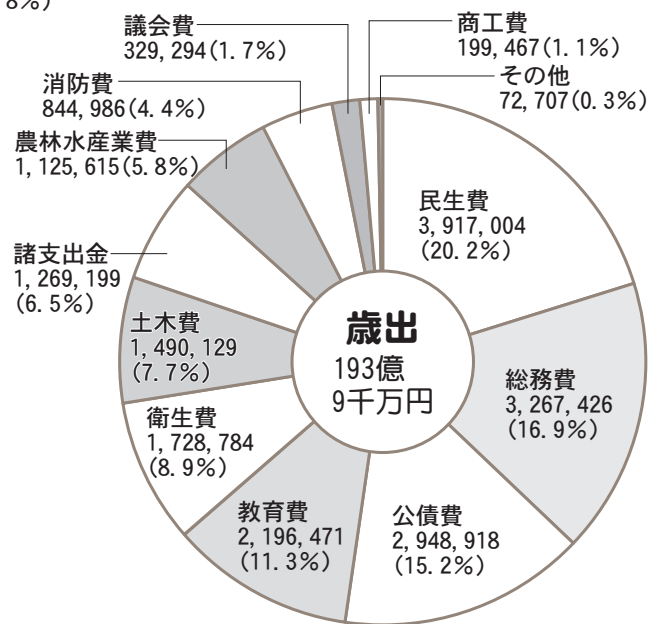
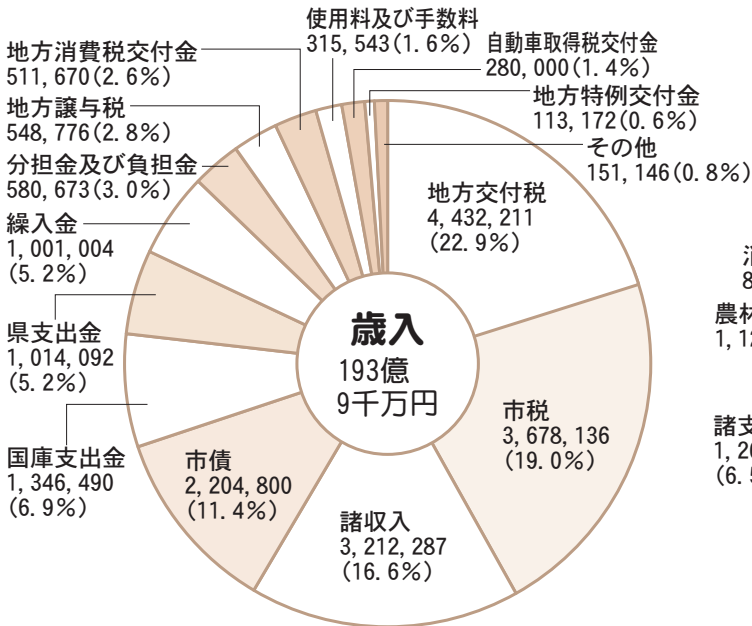
会計区分		予算額	会計区分		歳入	歳出	差引
普通会計	一般会計	19,390,000	企業 業 会 計	水道事業	(収入) 1,379,897 (資入) 69,440	(収出) 1,411,595 (資出) 502,998	△31,698 △433,558
特別会計	国民健康保険事業(事業勘定)	5,924,000		小計	1,449,337	1,914,593	△465,256
	国民健康保険事業(施設勘定)	52,300		病院事業	(収入) 21,601,742 (資入) 803,675	(収出) 21,559,976 (資出) 3,851,273	41,766 △3,047,598
	老人保健	3,831,800		小計	22,405,417	25,411,249	△3,005,832
	介護保険事業	2,700,624		国民宿舎事業	(収入) 185,710 (資入) 0	(収出) 167,925 (資出) 25,155	17,785 △25,155
	下水道事業	640,077		小計	185,710	193,080	△7,370
	農業集落排水事業	42,769		企業会計合計	24,040,464	27,518,922	△3,478,458
	小計	13,191,570		合計	56,622,034	60,100,492	△3,478,458

※企業会計欄における(収入)は収益的収入、(収出)は収益的支出です。(資入)は資本的収入、(資出)は資本的支出です。

一般会計予算の内訳

(7月～平成18年3月)

[単位：千円]



市民1人当たりの
予算額 271,000円(9か月)
(人口 71,548人/平成17年10月1日)

主要事業 (抜粋)

単位：千円

- ◇戸籍電算化事業34,804
- ◇障害者施設訓練支援等事業249,342
- ◇国民健康保険事業特別会計繰出金229,286
- ◇老人保健特別会計繰出金271,997
- ◇介護保険事業特別会計繰出金293,114
- ◇児童扶養手当給付事業150,401
- ◇保育所運営費567,229
- ◇生活保護扶助費369,522
- ◇東総広域水道企業団負担金349,740
- ◇基本健康診査事業87,168
- ◇がん検診事業46,241
- ◇合併処理浄化槽設置促進事業56,827
- ◇塵芥処理施設運営費415,195
- ◇経営構造対策事業110,020
- ◇先進の園芸農産産地づくり事業11,824
- ◇家畜排せつ物利用施設整備事業96,344
- ◇農村総合整備事業20,528
- ◇基盤整備促進事業13,672
- ◇県営担い手育成基盤整備事業42,024
- ◇広域農業基盤整備事業122,779
- ◇地域水産物供給基盤整備事業32,709
- ◇水産基盤整備事業15,400
- ◇道路新設改良事業225,855
- ◇排水路整備事業56,300
- ◇旭中央病院アクセス道(南北線)整備事業 10,605
- ◇1級2号線交通安全施設整備事業34,511
- ◇1級5号線地方特定道路整備事業80,810
- ◇防衛施設周辺民生安定事業68,030
- ◇魅力アップモデル事業20,800
- ◇旭駅前広場等整備事業93,553
- ◇下水道事業特別会計繰出金346,517
- ◇袋公園整備事業43,706
- ◇パークゴルフ場整備事業13,345
- ◇消防団活動費45,016
- ◇放課後児童健全育成事業21,887
- ◇海上中学校建設事業702,204
- ◇中学校英語指導助手配置事業20,150
- ◇給食センター運営費321,499
- ◇水道事業会計繰出金151,385
- ◇病院事業会計繰出金1,117,304